

# JIS

## 耐火物用語

### JIS R 2001-1985

(2006 確認)

昭和60年3月1日 改正

日本工業標準調査会 審議

(日本規格協会 発行)

著作権法により無断での複製、転載等は禁止されております。

**窯業部会 耐火物専門委員会 構成表**

	氏 名	所 属
(委員会長)	浜野 健也	東京工業大学
	奥田 博	名古屋工業技術試験所
	新村 明	通商産業省生活産業局
	内仲 康夫	通商産業省基礎産業局
	大久保 和夫	工業技術院標準部
	遠藤 幸雄	社団法人窯業協会
	大槻 彰一	耐火物協会
	石渡 宏	耐火物技術協会
	金子 功	社団法人セメント協会
	近藤 敬	板ガラス協会
	永井 灝	社団法人日本鉄鋼連盟
	小田中 真一郎	大阪窯業耐火煉瓦株式会社
	藤本 章一郎	黒崎窯業株式会社
	鳥谷 博信	川崎伊材株式会社
	滑石 直幸	播磨耐火煉瓦株式会社
	堀江 鋭二	イソライト工業株式会社
	西川 泰男	九州耐火煉瓦株式会社
	木地 一郎	丸越工業株式会社
	本郷 靖郎	日本特殊伊材株式会社
	篠原 泰明	新日本製鐵株式会社
鈴木 隆夫	住友金属工業株式会社	
宮本 明	日本鋼管株式会社	
坂野 義郎	川崎製鐵株式会社	
石田 二郎	大同特殊鋼株式会社	
(事務局)	宅間 昌輔	工業技術院標準部繊維化学規格課
	鈴木 清美	工業技術院標準部繊維化学規格課

主 務 大 臣：通商産業大臣      制定：昭和 40. 2. 1      改正：昭和 60. 3. 1      確認：平成 11. 10. 20

官 報 公 示：平成 11. 10. 20

原案作成協力者：耐火物技術協会

審 議 部 会：日本工業標準調査会 窯業部会（部会長 高橋 健太郎）

審議専門委員会：耐火物専門委員会（委員会長 浜野 健也）

この規格についての意見又は質問は、経済産業省 産業技術環境局標準課 産業基盤標準化推進室（☎100-8901 東京都千代田区霞が関 1 丁目 3 - 1）へ連絡してください。

なお、日本工業規格は、工業標準化法第 15 条の規定によって、少なくとも 5 年を経過する日までに日本工業標準調査会の審議に付され、速やかに、確認、改正又は廃止されます。

著作権法により無断での複製、転載等は禁止されております。

## 耐火物用語

R 2001-1985

(1999 確認)

## Glossary of Terms Used in Refractory

1. 適用範囲 この規格は、耐火物に関して用いられる主な用語について規定する。

2. 分類 耐火物用語は、次の6分類とする。

- (1) 一般
- (2) 原料及び鉱物
- (3) 製造
- (4) 耐火物の種類
- (5) 窯炉及び耐火物の形状
- (6) 特性及び試験方法

3. 用語、読み方及び意味 用語、読み方及び意味は、次のとおりとする。

- (1) 一般

番号	用語	意味	対応英語(参考)
102	仮焼 (かしょう)	生原料を物理的又は化学的に変化させるために予備的に行う熱処理。	calcination
103	可塑性 (かそせい)	形を作りうる性質、特に粘土に著しい性質で、この可塑性によってき裂を生じさせることなく成形し、新しい形状を保たせることができる。	plasticity
104	角欠け (かどかけ)	れんがの角及びりょうの一部が破壊、はく離等によって損失した状態。	edge defect, corner defect
105	塑性変形 (そせいへんけい)	外力に対して破壊することなく変形し、外力を取り去ってもそのままの形を保つような変形。	plastic deformation
106	き裂	表面き裂と断わらない限り、製品の表面から内部に広がった裂け目。	crack
107	きず	焼成によって、れんがに生じた甚だしい汚染、はん点及び溶融孔等。	flaw
108	クリンカー	マグネシア、ドロマイト等が強固に焼け固まったもの。	clinker
109	鉱化剤	焼成によってある種の化合物の生成及びその結晶化を促進助成させるために、少量添加する物質(原料中に存在することもある)。	mineralizer
112	シェリング, ピーリング, フレーキング	加熱面の背後のき裂によって耐火物の加熱表面部分がはく離消失すること。	shelling, peeling, flaking

引用規格：20 ページに示す。